

令和3年度 第三学年 学年だより

# 必 笑

NO.24



荒川区立  
南千住第二中学校  
第三学年

令和3年11月2日

## 最後の霜月祭『やればできる!』②

霜月祭2日目の10月29日(金)は「舞台発表の部」でした。3年生の学年劇のタイトルは「**やればできる!**」。南千住にゆかりのある場所や人物をモチーフに地域劇を披露しました。各クラスの担当場面を紹介します。**1組は井上省三**の場面を担当しました。千住製絨所を開業し、日本の羊毛工業の発展に尽力した人物です。明治時代の日本やドイツを再現するべく、本格的な衣装や大道具を使用していたのがとても印象的でした。**2組はダンス**場面の担当です。最後の場面、学年全体で踊るダンスの選曲も担当しました。これは各クラスの演技をつなぐ重要な場面であるため、ダンスメンバーを中心に何度も台本を変え、試行錯誤を繰り返えず姿が見られました。本番ではその成果を発揮し、立派な演技を披露しました。



**3組は栗友亭**の場面を担当しました。その場所は様々な漫才や落語が上演され、東京漫才発祥の地といわれています。主役は売れない漫才師「〇〇〇〇」。2人がタイムスリップし、現代の芸人から売れるために必要なアイデアを吸収するというストーリー。笑いを誘う全力の演技に引き込まれました。**4組は東京スタジアム**の場面を担当しました。プロ野球球団・大毎オリオンズ（現・千葉ロッテマリーンズ）が本拠地として使用し、オールスター戦を含むプロ野球の試合が行われていた場所です。インパクトの強い永田オーナーの場面からスタート。「おおもりの蕎麦屋さんや青木屋のパン屋さん、大毎オリオンズの帽子など、工夫を凝らした小道具、演技が印象的でした。あらかじめ録音した音声に合わせて演技をした今回のアフレコ劇は、キャスト、スタッフが一丸となって作り上げ、3年生らしい素晴らしい内容となりました。限られた時間、条件でも「**やればできる!**」ということを見事に証明してくれました。お疲れ様でした！

